

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】 第 6 部門第 3 区分  
【発行日】 令和 5 年 1 月 19 日(2023.1.19)

【公開番号】 特開 2021-125000(P2021-125000A)  
【公開日】 令和 3 年 8 月 30 日(2021.8.30)  
【年通号数】 公開・登録公報 2021-040  
【出願番号】 特願 2020-18551(P2020-18551)  
【国際特許分類】

G 0 6 T 7/70(2017.01)

G 0 6 T 7/00(2017.01)

G 0 1 C 3/06(2006.01)

【F I】

G 0 6 T 7/70 A

G 0 6 T 7/00 3 5 0 B

G 0 1 C 3/06 1 1 0 Z

10

【手続補正書】

【提出日】 令和 5 年 1 月 6 日(2023.1.6)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対象物を含む映像を用いて、対象空間における前記対象物の位置を推定する位置推定部と、

前記対象物及び前記対象物の位置を入力とし、前記対象物を認識するための学習モデルを構築する学習モデル構築部と、

30

UI デバイスに設けられたカメラにより取得した映像と、センサによって検出された前記カメラの位置情報とを前記学習モデルに入力し、前記カメラで撮影された映像に含まれる前記対象物の検出を行う検出部と、を備える画像処理装置。

【請求項 2】

UI デバイスに設けられた前記カメラがとらえている空間の領域を推定する空間推定部をさらに備え、

前記空間推定部は、

前記カメラがとらえている空間の映像から前記対象物の切り出しを行い、切り出された前記対象物の前記映像における位置と、推定した前記空間をなす領域とを用いて、前記空間をなす領域内における、前記対象物の存在する位置を推定する、請求項 1 に記載の画像処理装置。

40

【請求項 3】

対象物を含む映像を用いて、対象空間における前記対象物の位置を推定し、

前記対象物及び前記対象物の位置を入力とし、前記対象物を認識するための学習モデルを構築し、

UI デバイスに設けられたカメラで撮影された映像と、センサによって検出された前記カメラの位置情報とを前記学習モデルに入力し、前記 UI デバイスに表示された映像に含まれる前記対象物の検出を行う、検出方法。

【請求項 4】

対象物を含む映像を用いて、対象空間における前記対象物の位置を推定し、

50

前記対象物及び前記対象物の位置を入力とし、前記対象物を認識するための学習モデルを構築し、

UIデバイスに設けられたカメラで撮影された映像と、センサによって検出された前記カメラの位置情報とを前記学習モデルに入力し、前記カメラで撮影された映像に含まれる前記対象物の検出を行うことをコンピュータに実行させるプログラム。

10

20

30

40

50